

6.レポートの書き方

みなさんは高校生の時に感想文や実験レポートなどに取り組んだ経験がすでにあることと思いますが、大学に入ると、各授業のレポートや課題の多さに、まずは面食らうことと思います。さまざまな授業のさまざまなタイプのレポートに取り組むコツは「書き方になれる」とことと「スケジュールリング」です。

(1)課題の枠組みを整理しポイントを頭に入れる

課題をじっくり眺めましょう。大切なところにはチェックを入れましょう。

- ・ 課題の内容について…授業やテキストに沿った課題なのか？その枠を超えたテーマか？難易度は？先生の意図するところは？
- ・ 担当教員の指示は…箇条書き・表にまとめる・〇〇を参考に考察せよ、など。
- ・ 提出方法について…体裁(1 ページの文字数・タイトル・名前の書き方・ページ制限があるのかなど)
- ・ 提出の仕方(紙に印刷して提出・メールに添付など)
- ・ 期日 (メール添付の場合は何日の何時までかを確認しましょう。卒業論文は決められた書式で書いて期日までに事務室に持っていく必要があります。提出期限の時間に遅れると受理してもらえません)を確認しましょう。

(2)何から始めるか整理する

その週にいくつものレポートや課題の提出期限があるとします。まず、どの課題に一番時間がかかりそうか、考えてみましょう。時間のかかりそうなものから片づけるか、提出期限の順番に仕上げていくか、それは個々人の自由ですが、時間の見通しをつかむことにつながり、ペース配分ができます。そのうえで、今日はこれとこれを仕上げよう、これをやったら順番通りでなくても時間がかかるレポートに少し手を付けよう、など、スケジュールしていくとよいと思います。

(3)とにかく書いてみよう

実は、多くのレポートには正解はありません(理系の実験レポートや統計学など、特殊なものは除きます)。レポートの評価も、授業内でいくつか課題を出すうちに、先生の評価ポイントや、コツがつかめてきますので、恐れずに提出することが最も大事なことです。上に書いた(1)をまずはよく守りましょう。それだけで必要な点数の幾分かはおさえられているはずです。

(4)どうしても書けなかったら…

まずは先生に、提出できなかった理由を伝え、できているところまででよいので遅れてでも提出しましょう。提出することが大事です！先生も評価の対象がなければ成績のつけようがありません。書き方やまとめ方がわからない場合は、図書館のライティングサポートを利用してみるのもおすすめです。大学院生がレポートや論文の書き方について、サポートしてくれます。

授業を受ける上で何らかのサポートが必要な場合は障がい学生支援室へ。

<https://www.kobe-c.ac.jp/campuslife/student-support>